

中央大学卒司法試験合格者 各 位

アンケートのお願い

謹啓益々ご清栄の段お慶び申上げます。

さて、当法職教育検討委員会は、中央大学出身の法曹で組織される中央大学法曹会に属し、母校の法学教育を益々充実させ、今後ともより優秀な人材を多数法曹界に輩出するため、特に中央大学の法曹養成教育について種々の観点から検討を加え、且つ、改善を図る目的で組織された委員会であります。

ところで、新聞等でご存知のように、ここ数年司法試験制度改革の声が高まり、現在法務省側では合格者増員と併せて一定限度の受験回数制限を織込んだ改革法案の作成作業に取り掛かっております。

そこで、近い将来現行の司法試験制度が何らかの形で改革されることが予想されますが、仮に受験回数制限等の制度が導入された場合法曹養成のための法学教育においてもそれなりの対応を迫られることは必至であります。

当委員会でも、将来の制度改革を睨んで、現在その対応策の検討を進めておりますが、その一貫として昭和63年度及び平成元年度中央大学卒司法試験合格者の実態調査を行なっております。

皆様方におかれましてはお忙しい毎日とは思いますが、秘密は厳守いたしますので是非とも別紙アンケートの回答にご協力お願い致します。

できれば平成2年1月15日までに回答をお願いいたします。

平成元年12月

中央大学法曹会  
幹事長 設樂 敏男

中央大学法曹会法職教育検討委員会  
委員長 中津 靖夫

事務連絡担当  
事務局次長 諸永芳春

## 回 答 欄

氏 名 (匿名可) \_\_\_\_\_

以下の事項にご回答下さい。

1. 司法試験合格年度 【昭和・平成】 \_\_\_\_\_年

2. 生年月日 昭和\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

3. 卒業学科\_\_\_\_\_学部\_\_\_\_\_学科 【一部・二部】

4. 入学年度 昭和\_\_\_\_\_年, 卒業年度 【昭和・平成】 \_\_\_\_\_年

5. 中央大学で所属していた学研連等受験団体の名称 (複数列挙可)

\_\_\_\_\_

6. 合格までに主に利用した受験予備校等の名称 (複数列挙可)

\_\_\_\_\_

7. 中央大学法職講座の利用の有無 (利用した年度を全て記入)

【有・無】 利用年度 \_\_\_\_\_

8. 大学卒業後の職歴の有無 (アルバイトを除く。複数列挙可)

【有・無】 職 種 \_\_\_\_\_ 従事年数\_\_\_\_\_年

9. 合格までの司法試験受験回数

(一) 総受験回数 \_\_\_\_\_回

(二) 論文式試験受験回数 \_\_\_\_\_回

(三) 口述試験受験回数 \_\_\_\_\_回

(四) 初回論文式試験受験は何回目ですか \_\_\_\_\_回目

\*注 下線部に必要事項を記入。【 】内はいすれかに丸印記入。

(資料 2)

## 司法試験合格者アンケート集計結果

平成元年12月中に当法職教育検討委員会が昭和63年度及び平成元年度中央大学出身司法試験合格者宛てに出した別紙アンケートの集計結果は以下の通りである。

尚、アンケート回収成績は以下の通りであった。

昭和63年度合格者76名中回答者25名 (回答率32. 89%)

平成元年度合格者74名中回答者42名 (回答率56. 76%)

\*表の見方

各%は千分の一以下を四捨五入

【累計】は回答者中の割合を順次合計した値

### 最終合格者（10月31日）の年齢

年齢	昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合	累 計
22歳	1名	0名	1名	1.49%	1.49%
23歳	1名	0名	1名	1.49%	2.98%
24歳	4名	5名	9名	13.43%	16.41%
25歳	2名	3名	5名	7.46%	23.87%
26歳	2名	7名	9名	13.43%	37.30%
27歳	2名	5名	7名	10.45%	47.75%
28歳	5名	5名	10名	14.93%	62.68%
29歳	1名	6名	7名	10.45%	73.13%
30歳	2名	3名	5名	7.46%	80.59%
31歳	2名	2名	4名	5.97%	86.56%
32歳	0名	0名	0名	0%	86.56%
33歳	2名	2名	4名	5.97%	92.53%
34歳	1名	2名	3名	4.48%	97.01%
35歳	0名	0名	0名	0%	97.01%
36歳	0名	0名	0名	0%	97.01%
37歳	0名	1名	1名	1.49%	98.50%
38歳	0名	0名	0名	0%	98.50%
39歳	0名	1名	1名	1.49%	99.99%

昭和63年度合格者の回答者平均年齢 27.52 歳

平成元年度合格者の回答者平均年齢 28.29 歳

回答者全体の平均年齢 28 歳

### 総受験回数

回数	昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合	累 計
1回	0名	0名	0名	0%	0%
2回	0名	0名	0名	0%	0%
3回	4名	2名	6名	8.96%	8.96%
4回	3名	3名	6名	8.96%	17.92%
5回	2名	8名	10名	14.93%	32.85%
6回	2名	6名	8名	11.94%	44.79%
7回	5名	5名	10名	14.93%	59.72%
8回	2名	6名	8名	11.94%	71.66%
9回	5名	5名	10名	14.93%	86.59%
10回	1名	3名	4名	5.97%	92.56%
11回	0名	1名	1名	1.49%	94.05%
12回	0名	1名	1名	1.49%	95.54%
13回	0名	0名	0名	0%	95.54%
14回	0名	2名	2名	2.99%	98.53%
15回	1名	0名	1名	1.49%	100.02%

### 卒業後の受験回数

回数	昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合	累 計
1回	2名	2名	4名	5.97%	5.97%
2回	3名	1名	4名	5.97%	11.94%
3回	4名	7名	11名	16.42%	28.36%
4回	1名	6名	7名	10.44%	38.80%
5回	2名	5名	7名	10.44%	49.24%
6回	5名	5名	10名	14.93%	64.17%
7回	2名	6名	8名	11.94%	76.11%
8回	4名	4名	8名	11.94%	88.05%
9回	1名	0名	1名	1.49%	89.54%
10回	0名	2名	2名	2.99%	92.53%
11回	0名	2名	2名	2.99%	95.52%
12回	0名	0名	0名	0%	95.52%
13回	1名	1名	2名	2.99%	98.51%
14回	0名	1名	1名	1.49%	100.00%

## 論文式受験回数

回数	昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合	累 計
1回	2名	2名	4名	5.97%	5.97%
2回	6名	4名	10名	14.93%	20.90%
3回	7名	9名	16名	23.88%	44.78%
4回	4名	9名	13名	19.40%	64.18%
5回	0名	5名	5名	7.46%	71.64%
6回	3名	3名	6名	8.96%	80.60%
7回	1名	4名	5名	7.46%	88.06%
8回	1名	4名	5名	7.46%	95.52%
9回	1名	1名	2名	2.99%	98.51%
10回	0名	0名	0名	0%	98.51%
11回	0名	0名	0名	0%	98.51%
12回	0名	1名	1名	1.49%	100.00%

## 初回論文試験までの受験回数

回数	昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合	累 計
1回	4名	2名	6名	8.96%	8.96%
2回	5名	12名	17名	25.37%	34.33%
3回	6名	15名	21名	31.34%	65.67%
4回	4名	8名	12名	17.91%	83.58%
5回	5名	3名	8名	11.94%	95.52%
6回	1名	1名	2名	2.99%	98.51%
7回	0名	0名	0名	0%	98.51%
8回	0名	0名	0名	0%	98.51%
9回	0名	1名	1名	1.49%	100.00%

## 学研連等受験団体所属経験者

昭和63年度 15名	平成元年度 23名	合 計 38名	回答者中の割合 56.72 %
---------------	--------------	------------	--------------------

## 受験予備校利用経験者

昭和63年度 22名	平成元年度 38名	合 計 60名	回答者中の割合 89.55 %
---------------	--------------	------------	--------------------

## 法 職 講 座 利 用 者

昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合
12 名	22 名	34 名	50.75 %

## 職 業 経 験 者

昭和63年度	平成元年度	合 計	回答者中の割合
8 名	9 名	17 名	25.37 %

### 【寸 評】

回答率の関係上本アンケートの結果のみでは中央大学卒業司法試験合格者の実態は完全には把握できないが、本アンケート結果を見る限り、総受験回数6回以上の多数回受験者が過半数を占めていることがわかる。

また、中生の場合2～4回目位の受験で短答式試験に合格し、その後、論文試験2～4回目で最終合格というのが平均的な合格パターンのようである。

年齢的に言えば30歳を超えると合格が非常に困難となっているようである。

次に、回答者の過半数が法職講座を利用した経験があり、またほとんどの受験生が受験予備校を利用している。受験予備校としては辰巳法律研究所、早稲田司法試験セミナー、LEC等が利用度の多い学校として回答された。

逆に有職者は少なく、職業経験ありと回答があった者でも、職種としては塾講師、ガードマン等の長期アルバイト的色彩が強いものがほとんどであり、アルバイト的でない職業と思われるものとしては裁判所書記官というのが1名あったのみである。

以 上

(文責 法職教育検討委員会 伊達)

## "関係諸規程"

# 中央大学法曹会会則

(制定昭和44・5・17 改正昭和55・5・27、平成2・5・16、平成3・5・23)

第一条 本会は中央大学法曹会と称し、中央大学学員会の支部とする。

本会の事務所を東京都内に置く。

第二条 本会は会員相互の親睦をはかるとともに、中央大学の興隆と司法の発達に寄与することを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するために次の行事を行う。

一、中央大学の健全な運営に協力し、意見を具申すること

二、会報及び会員名簿の発行

三、研究会、講演会及び座談会の開催

四、その他必要と認める事実

第四条 本会は中央大学学員で東京都内に住所又は勤務場所を有する法曹並び本会の趣旨に賛同する中央大学学員たる法曹をもつて組織する。

幹事長は、本会の趣旨に賛同して会員になろうとする者の申出を受けたときは、常任幹事会の議を経て右の者を会員とするものとする。

第五条 本会に次の役員を置く。

一、幹事長

一名

二、副幹事長 五名  
三、常任幹事 五十名以内  
四、幹事 三名以内  
五、会計監事 三百名以内

第六条 幹事及び会計監事は総会において選任する。但し、幹事は別に定める規定により選出した候補者の中から選任するものとする。

幹事長、副幹事長及び常任幹事はいずれも幹事の互選による。

第七条 役員の任期はすべて二年とする。但し再任を妨げない。補欠、補充又は増員によつて選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第八条 本会に顧問及び参与を置くことができる。顧問及び参与は総会の議を経てこれを委嘱する。

顧問及び参与は本会の管理運営につき隨時その諮詢に応えるほか幹事会または常任幹事会に出席して意見を述べることができる。

第九条 幹事長は本会を代表し会務を掌理し、中央大学学員会

の支部長となる。

副幹事長は幹事長を補佐し幹事長に事故あるときは予め定めた順序によりその職務を代行する。

幹事及び常任幹事は、それぞれ幹事会及び常任幹事会を構成し、おのおの所定の職務を行うものとする。

会計監事は本会の会計を監査するものとし、常任幹事会及び幹事会に出席して意見を述べることができる。

第十条 総会は定期と臨時に分ち、定期総会は毎年五月中旬に

幹事長がこれを招集する。

幹事長が必要ありと認めたときは臨時総会を招集することができる。

幹事長は、百名以上の会員が別に定める規程により会議の目的たる事項を示して臨時総会の招集を請求したときは、遅滞なく、これを招集しなければならない。

総会の議事は、その都度選任された議長及び副議長各一名がこれに当たる。議長は幹事長より提案する議事を総会の審議に付する。

副議長は議長を補佐する。

総会の議事は出席会員の過半数によつて決する。

第十一條 幹事長は年二回以上幹事長の招集によりこれを聞く。

幹事長は、幹事十五名以上の連署による請求をうけたときは遅滞なく、幹事会を招集しなければならない。

幹事会において幹事長が議長となり、本会の運営上重要な事項及び本会の会員を中央大学の理事、監事、評議員その他

の役職員並びに中央大学学員の役員の各候補者に推薦する事項を議決する。

第十二条 常任幹事会は幹事長、副幹事長、常任幹事をもつて組織し、年四回以上幹事長の招集によりこれを聞く。

幹事長は、常任幹事五名以上の連署による請求を受けたときは、遅滞なく、常任幹事会を招集しなければならない。

常任幹事会においては幹事長が議長となり、本会の常務及び運営上必要な一切の事項を審議決定する。

第十三条 本会は必要に応じ、幹事会の議を経て、委員会を置くことができる。

委員会の組織、権限、運営に関する事項は幹事会においてこれを定める。

第十三条の二 本会に事務局を置く。

2 事務局に事務局長及び事務局次長を置く。

3 事務局の組織、職務及び運営に関する事項は、別に規則をもつて定める。

第十四条 本会の経費は会費、寄附金及びその他の収入をもつて支弁する。

会費は幹事会の議を経て別に定める。

第十五条 本会の会計年度は毎年四月一日より翌年三月三日までとする。

予算及び決算は幹事会の議を経て、総会の承認を得なければならぬ。

第十六条 本会則は総会において出席会員の三分の二以上の同

意を得て改正することができる。

## 幹事候補者選出規程

この会則は、昭和五五年六月一日から施行する。

### 附 則

第一条 第二項及び第十三条の二の改正規定は、平成二年五月十六日から施行する。

### 附 則

第五条第四号の改正規定は、平成三年五月二十三日から施行する。

### 会員の請求による臨時総会招集規程

第一条 この規程は、中央大学法曹会会則第十条第三項による臨時総会招集に関する事項を定めることを目的とする。

第二条 百名以上の会員が、会則第十条第三項により、臨時総会の招集を請求しようとするときは、連署によるものとする。

第三条 前条の場合において、会員は、臨時総会の開催に必要な経費を、あらかじめ、幹事長に預託しなければならない。

前項の経費は、印刷費、通信費、会場費等幹事長の積算する額によるものとする。

第四条 この規程の改正は会則改正の手続による。

### 附 則

この規程は改正会則施行の日から施行する。

第一条 この規程は中央大学法曹会会則第六条による幹事候補者の選出に関する事項を定めることを目的とする。

第二条 幹事候補者は左の各号の区分に従い、各別にその員数を投票以外の方法により選出するものとする。

一、東京弁護士会所属会員中より 一三〇名以内  
二、第一東京弁護士会所属会員中より 五五名以内

三、第二東京弁護士会所属会員中より 五五名以内  
四、都内各裁判所所属会員（判事出身の公証人を含む） 三〇名以内

中より 三〇名以内

五、都内各検察庁所属会員（検事出身の公証人を含む） 三〇名以内

中より 三〇名以内

第三条 削除（昭和五五年六月一日施行）

第四条 この規程に定めない事項につき必要のあるときは幹事会においてこれを決定することできる。

第五条 この規程の改正は会則改正の手続による。

### 附 則

この規程は、昭和五五年六月一日から行施する。

### 附 則

第二条各号の改正規定は、平成三年五月二十三日から施行する。

## 中央大学法曹会事務局規則

第一条 中央大学法曹会事務局本会（以下「事務局」という。）

に次の職員を置く。

一、事務局長

一人

二、事務局次長

若干人

第二条 事務局長及び事務局次長は、幹事会の議を経て、幹事

長がこれを任免する。

第三条 事務局長は、幹事長の命を受け、事務局の事務を掌理

する。

2 事務局次長は、事務局の事務を分担し、その担当事務につ

いて事務局長を補佐する。

第四条 幹事長は、幹事会に諮り、事務局の運営及び事務処理

に関する細則を定めることができる。

第五条 この規則は、幹事会の議を経て改正することができる。

### 附 則

この規則は、平成二年五月十六日から施行する。

### 法職教育検討委員会規則

#### （設 置）

第一条 本会に法職教育検討委員会（以下「本委員会」という。）

を置く。

（委員会の目的）

第二条 本委員会は、中央大学法職講座運営委員会の事業、そ

の他、法職を目的とする中央大学学生及び卒業生に対する法職教育について、調査、検討及び協力することを目的とする。

#### （委員会の構成）

第一条 本委員会は、次の者で構成する。

一、中央大法曹会選出の中央大学法職講座運営委員会委員

二、東京弁護士会ブロック 八名以内  
三、第一東京弁護士会ブロック 四名以内  
四、第二東京弁護士会ブロック 四名以内  
五、裁判所ブロック 二名以内  
六、検察庁ブロック 二名以内

#### （委員の任期）

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

#### （委員長）

第五条 委員会に委員長を置く。

委員長は第三条に定める委員のうち、同条第一号の委員を除いた委員で互選する。

委員長は会議を招集し、議長となる。

#### （審議事項）

第六条 委員会は第二条に定める目的を達成するため、隨時審

議決定する。

中央大学法曹会役員等名簿（平成一・二年度）

（順不同・敬称略）

一、顧問

石井	赤坂	石井
田出	正郎	田寅
寅雄	秀	雄

大金	大山	兼
西本	本清	平慶之助
常六	二郎	逝去
秀雄	保	

木倉	八島	小池
戸口	三郎	金市
久治	雅充	堂野
		達也

坂信	本高	堂野
建之助	雄	達也

松藤	井（一）	滝井
（二）	弁宣	国雄
（三）		渥美

二、参考

小平米	日本	日下文
木田 <sup>2</sup>	田 <sup>5</sup>	下文
貞為 <sup>22</sup>	為 <sup>5</sup>	雄
近逝 <sup>1</sup>	逝 <sup>2</sup>	次
三代	次	

鈴岡	太田	鈴木
木田	田 <sup>5</sup>	木秀
木近	錫淵	常雄
治		雄

梶原	水上	喜景
止		

寺尾	元川 <sup>11</sup>	小泉
正二	逝去 <sup>6</sup>	

居林	戸田	宗孝
（二弁）	（東弁）	與三次

外村 隆

三、常任幹事

新井弘二 佐藤歳二 佐藤喜三郎 佐藤弘 内山喜三郎 内山源 三郎 岩崎田源 三郎 服部邦彦 岩崎田源 三郎 篠原千廣 服部邦彦 及川昭二郎 阿部三郎

佐藤真一 佐藤杉山英巳 佐藤高橋守巳 佐藤小野道雄 佐藤吉英 佐藤白河 佐藤英浩 佐藤大藤井光 春洋 佐藤安藤康範 安藤滿範

中津川彰 中津嶋英也 田宮惠吾 田宮平吾 依田敬甫 依田中吾 依田茂 依田中茂 本間正彦 本須藤崇彦 本間久木野彦 本須藤久木野彦 市川利光 市川照已

宮本喜光 宮本重慶 田中笠井靖 田中笠井盛 田中原林秀 田中原林秀 田中原林秀 森田稚洲 猪股喜登 佐伯弘藏 佐伯弘藏

宗像紀夫 (検察官) 山本和敏 (裁判所) 三弁 野川坂二郎 野川坂二郎 渡辺洋一郎 渡辺洋一郎 柳沢義信 柳沢義信 (東弁) 横山茂八郎 中村昭 横山茂八郎 中村昭 榊原卓郎 小竹耕

(公証人)

四、幹事

藤成島垣安	山御船野名多	笠倉金遠飯安
本富田鍔西	岸園戸島波賀原	田沢藤塚藤
安一	憲賢良倉健三郎	桂哲恭和
猛信彦繁愈	司治実男	輔治男夫孝一

藤奈高神池	安山福原中玉坂楠	亀奥稻秋
本良橋田	田本家山村 <sup>平</sup> <sub>2</sub> 田	卷井原田知
博道勇洋達	隆忠辰庫浩 <sup>2</sup> <sub>9</sub> 郁	國忠喜 <sup>三</sup> 郎和
光博次明郎	彦義夫佳紹 <sup>吉</sup> 生	男義夫寬憲

宮萩田小伊	吉山堀濱中天白兒	木太石浅見
島原口屋藤	田 <sup>平</sup> <sub>2</sub> 田合	坂井島川渡
崇邦敏忠	幸 <sup>5</sup> <sub>28</sub> 重辰秀裕辰正	統一孝光昭
行平雄一敬	郎 <sup>吉</sup> 雄夫和二雄明	平郎久一

元羽田斎飯	吉安堀平中栢菅小岸海伊
木田中藤田	住原川松村木沼林法藤東
忠慎祐數	仁正文和治敏隆宏幸茂
徹義介一美	男之孝也郎明志也巖平昭正

山深網篠荻	吉山松深西中高紺北川伊飯
本沢取原原	田田永沢林村木野村勝井田
卓孝由静	武経生
也守治宏夫	哲茂涉久博秀茂稔彦則

(東弁八〇名)

五、会計監事

佐藤義行	松田豊嶌秀昇	高野利直	秋山富雄	高木典雄	川島貴志郎	朝岡智幸	雪下伸	原松誠	多田武	大塚功	入倉卓志	有賀正明	山田賢次郎
------	--------	------	------	------	-------	------	-----	-----	-----	-----	------	------	-------

（東弁）	溝口昭治	友野弘	玉井仁	石川達紘	河中康	生島信	三則	藤田光	三枝美登里	上野信功	今中義操
------	------	-----	-----	------	-----	-----	----	-----	-------	------	------

森												美耶子
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

（一弁）	村山創文	長山四郎	土屋守	石部紀男	並木茂	木村要	井上廣道	古川昭三郎	田中富雄	須田昭太郎	遠藤英毅	岩瀬外嗣雄
------	------	------	-----	------	-----	-----	------	-------	------	-------	------	-------

林田耕臣	吉川英亘	弘津輔	寺尾淳	乙部二郎	藤原康志	新矢悦	奥平守	増田浩	千葉昭雄	千鈴昭誠	小野田六二	飯畠正男
------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	------	------	-------	------

（二弁）	（検察官二四名）	（裁判所二〇名）	（三弁三六名）									
	松浦恂	寺西賢二	甲斐中辰夫	松鈴岡靖光	糟谷木勝利	谷忠男	（三弁三六名）	村山芳朗	中吉一郎	滝章一郎	大井農	石黒竹紀

（二弁三六名）

六、正・副幹事長・事務局長・次長

同	同	同	同	同	同	事務局長	同	同	同	同	副幹事長	幹事長
(会計担当次長)												
栗木	諸石	横伊	大吉	舟岡	吉田	松和	秋知	設樂	里和	憲夫	敏明	男二弁
原下	永渡	溝藤	西昭	橋征	和定	家之	和憲	樂敏	里和	憲夫	明二弁	二弁
恵秀	芳光	高忠	一郎雄	定之	和之	里明	憲夫	樂敏	里和	憲夫	明二弁	二弁
三樹	春一	至敬	(東)一弁	雄(檢察)	之(裁判)	里明	憲夫	樂敏	里和	憲夫	明二弁	二弁
(檢察)	(裁判)		(東)弁	(檢察)	(裁判)							

# 中央大学法曹会各種委員会委員名簿（平成一・二年度）

◎印は委員長 ○印は小委員長

## 一、人事委員会（一〇名）

◎赤坂正男 小竹耕  
岩田豊山崎源三

大西保高橋守雄

杉山英己  
甲斐中辰夫

名波倉四郎 繩稚登

（東弁）  
（二弁）  
（三弁）

（裁判所）  
（検察庁）

## 二、会報編集委員会（一〇名）

◎猪股喜蔵 白井正明  
細田良一

大平恵吾 千葉昭雄  
田中康郎 實

中村生秀

服部邦彦

（東弁）  
（二弁）  
（三弁）

寺西賢二  
伊井和彦  
田中大平  
大谷隼夫  
中村裕二

（特別委員）  
（検察庁）  
（裁判所）

三、会則改正委員会（一〇名）

榎原卓郎  
山崎源三  
◎笠井盛男  
河野信弘  
友野弘夫

四、法職教育検討委員会

浅見昭一  
須藤正彦  
荻原静夫  
中津靖夫

◎中  
柳沢義  
佐野真  
松岡靖  
岡靖夫  
柳沢義  
佐野真  
松岡靖  
岡靖夫  
荻原静  
原静夫  
須藤正  
藤正彦  
浅見昭  
見昭一

五、大学問題委員会（五〇名）

金沢恭三郎  
阿部三郎  
川安勝  
藤勝  
利章

木伊達俊  
飯田數  
中村裕  
伊和彦  
木伊達俊  
飯田數  
中村裕  
伊和彦  
要二美  
要二美  
二彦

小白河  
河野道  
久浩廣  
篠原千廣  
篠原千廣  
小野道  
久浩廣

岸伊東  
巖正

釤窪安市  
沢木田川  
知登志子  
雄隆彦  
釤窪安市  
沢木田川  
知登志子  
雄隆彦  
釤窪安市  
沢木田川  
知登志子  
雄隆彦

平野智嘉義

久木野利光  
飯塚孝

阿寺本吉  
阿部一本  
寺一本  
伊藤茂昭  
伊藤茂昭  
阿寺本吉  
阿部一本  
寺一本  
伊藤茂昭

堀合辰夫

日下文雄及川昭二

鈴木康洋  
(東弁)  
(東弁)  
(東弁)

(裁判所)  
(裁判所)  
(裁判所)  
(裁判所)

(中央大学法職講座運営委員会)

(検察庁)  
(裁判所)

水	田	雪	川	○ 古	依	竹	◎ 信	藤	鈴	兒
原	村	下	坂	山	田	村	部	井	木	島
敏	承	伸	二	昭	敬	照	高	光	秀	
博	三	松	郎	三郎	一郎	雄	雄	春	雄	平

中津川 彰	坂	上	田	岡	本	多	小
	本	野	中	田	間	賀	林
	建	之	慎	錫	健	元	
	助	操	介	淵	三郎	治	

田	内	寺	倉	森	滝	紺
宮	山	尾	田	田	沢	野
		正	雅	洲	国	
甫	弘	二	充	右	雄	稔

石	大	柳	設	安	橘	齊
黒	西	沢	樂	原		
竹		義	敏	正	節	暢
男	保	信	男	之	郎	生

(検察院) (裁判所)	岩	加	吉	萩	山	福	坂
	瀬	藤	本	原	本	家	卷
(二弁)	外嗣雄	康	英	忠	辰	国	
		夫	平	義	夫		

担 当 者 一 覧 表

大学問題委員会	法職教育検討委員会	会則改正委員会	会報編集委員会	人事委員会	主担当	副担当	担当幹事長又は副幹事長
松家副幹事長	吉田副幹事長	吉田副幹事長	秋知副幹事長	設楽幹事長			
秋知副幹事長	松家副幹事長	松家副幹事長	吉田副幹事長	秋知副幹事長	副担当	副担当	
横溝次長	諸永次長	諸永次長	石渡次長	大西局長			事務局

四〇周年記念行事準備委員会委員名簿

東京弁護士会

阿部三郎

飯塚孝

金沢千広

篠原恭

中村茂八郎

福家辰夫

横山昭夫

第一東京弁護士会

岩田源三

山崎豊

○設楽敏男

松井宣

第二東京弁護士会

○松井宣

○内山弘

石黒竹男

大塚功男

大平恵吾

松吉白河  
家本里英  
明雄浩

秋堀服鈴北伊安  
知合部木東藤  
和辰邦康忠  
憲夫彦洋彥正章

横溝高至  
依田敬一郎  
田中茂

石渡光一  
本間崇春  
藤井光彦  
須藤彦耕  
久木野利光  
小竹耕昭一

伊藤忠秀  
若林秀  
敬雄男

森田洲右  
深沢武久  
堤淳一  
佐伯久  
及川弘一  
市川昭二  
川照己

大西昭一  
渡辺洋  
柳沢一郎  
沢義信

○安原正之  
船戸実  
繩稚登  
榦原卓  
大高喜  
猪原卓郎  
股満範  
藏喜

○中津川	検察	○村	裁判所	吉田和夫	小野田六二
仲田	上重俊	正慶一			
章彰	序				
飯吉		並山		田笠井	
田岡		木本		宮	
英征		和			盛
男雄		茂敏		甫	男
大久保		佐木		中川坂	
慶		藤村		中津靖	
一		歳		二郎	
		二要		夫	
五島		高木		野宮	
幸雄		新二郎		木利雄	
栗原		舟橋		諸永芳春	
恵三		定之		高橋守雄	

# 中央大学法曹会平成元年度会務報告書

年 月 日	議 事・行 事	摘要
1 ・ 5 ・ 25	第四回常任幹事会・幹事会 昭和六三年度定時総会	於 中央大学駿河台記念館 昭和六三年度会務報告承認の件 各種委員会活動報告承認の件 昭和六三年度会計報告・監査報告承認の件 平成元年度幹事・会計監事選任の件 顧問・参与委嘱に関する件
1 ・ 6 ・ 13	第一回執行部会 新旧執行部引継会	引き続き、昭和六三年秋・平成元年春の叙勲者、昭和六三年五月二六日以降の栄進者祝賀・新入会員歓迎懇親会を挙行。
1 ・ 6 ・ 7	於 第一東京弁護士会会館 議題 1 幹事会・常任幹事会開催の件 2 本年度事業計画の件 3 各種委員会委員候補選出の件 4 正副幹事長就任披露懇談会開催の件 5 事務局次長職務分担の件	於 法曹会館 事務引継及び会計引継

					議題 1 本年度事業計画について
1・8・24	法職教育検討委員会（第一回）	人事委員会（第一回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（中津靖夫氏（二弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）	於 東京弁護士会会館 委員会の活動方針決定の件 幹事長からの諮問事項検討の件 定例委員会開催日決定の件	議題 3 正副幹事長就任披露懇談会開催の件 なお、議事終了後懇親会を開催
1・8・29	会報編集委員会（第一回）	会則改正委員会（第一回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（赤坂正男氏（東弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）	於 東京弁護士会会館 委員長選出の件（赤坂正男氏（東弁）を選出） 幹事長からの諮問事項検討の件 定例委員会開催日決定の件	議題 1 委員長選出の件（中津靖夫氏（二弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）
1・8・29	会則改正委員会（第一回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（猪股喜蔵氏（東弁）を選出） 2 定例委員会開催日決定の件	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（猪股喜蔵氏（東弁）を選出） 2 幹事長からの諮問事項検討の件	於 東京弁護士会会館 委員長選出の件（赤坂正男氏（東弁）を選出） 幹事長からの諮問事項検討の件 定例委員会開催日決定の件	議題 1 委員長選出の件（中津靖夫氏（二弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）
1・9・4	第三回執行部会	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（猪股喜蔵氏（東弁）を選出） 2 幹事長からの諮問事項検討の件	於 東京弁護士会会館 議題 1 委員長選出の件（猪股喜蔵氏（東弁）を選出） 2 幹事長からの諮問事項検討の件	於 東京弁護士会会館 委員長選出の件（赤坂正男氏（東弁）を選出） 幹事長からの諮問事項検討の件 定例委員会開催日決定の件	議題 1 委員長選出の件（中津靖夫氏（二弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）
1・9・7	大学問題委員会（第一回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 正副委員長選任の件 委員長に信部高雄氏（二弁）、副委員長に紺野 稔氏 （東弁）、古山昭三郎（二弁）を選出	於 東京弁護士会会館 議題 1 正副幹事長就任披露懇談会実施の細目につき打合せ	於 東京弁護士会会館 委員長選出の件（赤坂正男氏（東弁）を選出） 幹事長からの諮問事項検討の件 定例委員会開催日決定の件	議題 1 委員長選出の件（中津靖夫氏（二弁）を選出） 2 学員会報編集委員推薦の件（猪股喜蔵氏（東弁）を推薦）

1 · 11 · 1	1 · 11 · 1	人事委員会（第三回）	法職教育検討委員会（第三回）	会則改正委員会（第二回）	大學問題委員会（第二回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 幹事長の諮問事項検討の件 2 大学の法職講座運営委員会との合同会議の件	於 法曹会館	2 委員会の活動の件
議題 1 て	於 第一東京弁護士会会館 議題 中央大学教育研究振興資金募金委員会副委員長推薦について 坂本建之助中央大学理事より経過説明を受く	於 第一東京弁護士会会館 議題 中央大学教育振興資金募金委員会（仮称）副委員長推薦の件（次回継続）	於 東京弁護士会会館 議題 司法試験改正上の問題点の中大受験者に及ぼす影響の分析と対応策について	於 東京弁護士会会館 議題 会則上の改正を要すべき規定の検討	於 東京弁護士会会館 議題 大学総長問題について			
議題 1 て	第四回執行部会	人事委員会（第二回）	法職教育検討委員会（第二回）	會則改正委員会（第二回）	大學問題委員会（第二回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 幹事長の諮問事項検討の件 2 大学の法職講座運営委員会との合同会議の件	於 法曹会館	2 委員会の活動の件

3 事務局次長一名増員の方策について

1 11 13	人事委員会（第四回）							
1 12 2	法職教育検討委員会	於 東京弁護士会会館 議題 中央大学教育研究振興資金募金委員会副委員長推薦について 2 1 阿部三郎中央大学理事から経過説明 2 大西 保氏を推薦						
1 11 1	第二回幹事会・常任幹事会	於 東京弁護士会会館 議題 上の改正の要否について						
1 11 27	法職教育検討委員会（第四回）	於 第一東京弁護士会会館 議題 中央大学法職講座運営委員会、学研連法職講座協力委員会 との意見交換会、懇親会						
1 11 21	会報編集委員会（第二回）	於 東京弁護士会会館 議題 会報編集方針打合せ						
1 11 1	法職教育検討委員会（第四回）	於 東京弁護士会会館 議題 「法職講座」運営上の問題点と対象について合格者に対する受験回数等のアンケート調査の実施						
於 駿河台記念館 中央大学法職講座運営委員会、学研連法職講座協力委員会との意見交換会	議題 1 会務報告 2 各種委員会報告 3 司法試験合格者数報告 4 事務局員を置く細則の制定	於 銀座三越						

2 ・ 2 ・ 26	2 ・ 2 ・ 21	2 ・ 2 ・ 16	2 ・ 2 ・ 15	2 ・ 1 ・ 24	法職教育検討委員会（第五回）	第五回執行部会
法職教育検討委員会（第六回）	人事委員会（第五回）	会報編集委員会（第三回）	第六回執行部会	会則改正委員会（第四回）	於第一東京弁護士会会館 議題 1 法職講座運営委員会規則改正に伴う委員増員について 司法試験合格者に対するアンケート調査結果について 3 2 司法試験合格者増を図るための中大法職講座運営委員 会、学研連との合同会議について	於半藏門会館 法職講座運営委員会規則改正に伴う委員増員に関する意見の件
於 東京弁護士会会館 て	於 東京弁護士会会館 議題 1 中央大学評議員候補者推薦委員会委員の推薦について 3 2 中央大学評議員候補者推薦について 財団法人白門奨学会理事及び幹事各一名の推薦につい て	於 東京弁護士会会館 議題 1 会報「中大法曹」第一二号編集方針について	於第一東京弁護士会会館 議題 1 会則上の改正点の要否について 2 事務局設置規定の改正について	於第一東京弁護士会会館 議題 1 中央大学学員会事業計画に対する意見について 2 中央法曹会四〇周年記念事業について 3 中央大学評議員候補者等につき人事委員会へ付託の件 4 第三回幹事会・常議員会について 5 平成元年度定期総会準備について	於第一東京弁護士会会館 議題 1 中央大学評議員候補者推薦委員会委員の推薦について 2 中央大学評議員候補者推薦について 3 財団法人白門奨学会理事及び幹事各一名の推薦につい て	於第一東京弁護士会会館 議題 1 法職講座運営委員会規則改正に伴う委員増員について 司法試験合格者に対するアンケート調査結果について 3 2 司法試験合格者増を図るための中大法職講座運営委員 会、学研連との合同会議について

				議題 法職講座運営委員との懇談会について
2・3・9			人事委員会（第六回）	於 東京弁護士会会館 議題 1 中央大学法曹会会則等一部改正案の審議 2 中央大学法曹会事務局規則案の審議
2・3・19		第三回幹事会・常任幹事会		於 法曹会館 議題 中央大学選任評議員候補者推薦の件
2・3・26	顧問懇談会	法職教育検討委員会と学研連法職講座協力委員会及び中央大学法職講座運営委員会との懇談会	於 駿河台記念館 議題 1 各種委員会活動状況報告の件 2 会則等一部改正案審議の件 3 中央大学評議員推薦委員会委員推薦の件 4 白門挺学会理事監事推薦の件 5 中央大学選任評議員候補者推薦の件 6 平成元年度定時総会日程承認の件	於 法曹会館 議題 法曹会館
2・3・23	法職教育検討委員会（第七回）	於 東京弁護士会会館 議題 司法試験改革に備えた対策案の検討		

# 中央大学法曹会平成二年度会務報告書

				2・4・5	人事委員会（第七回）	於 第一東京弁護士会会館 議題 中央大学理事・監事選考委員会委員推薦の件（滝沢国雄、倉田雅充、赤坂正男の各氏を推薦）
2・6・15	2・6・7	2・5・31	人事委員会（持回り）	2・5・10	執行部会	於 第一東京弁護士会会館 議題 定時総会議題について
			第四回幹事会・常任幹事会 平成元年度定時総会	2・5・16	執行部会	於 第一東京弁護士会会館 議題 定時総会の進行について
					於 中央大学駿河台記念館 議題 1 会則等一部改正の件 2 四〇周年記念行事準備委員会設置の件 3 平成元年度会務報告の件 4 各種委員会活動状況報告の件 5 平成元年度会計報告・監査報告承認	於 中央大学駿河台記念館 議題 1 会則等一部改正の件 2 四〇周年記念行事準備委員会設置の件 3 平成元年度会務報告の件 4 各種委員会活動状況報告の件 5 平成元年度会計報告・監査報告承認
於 第一東京弁護士会会館	於 第一東京弁護士会会館 議題 本年度事業計画について 四〇周年記念行事準備委員会の構成	於 第一東京弁護士会会館 議題 (赤坂正男、倉田雅充、大西 保の各氏を推薦)	執行部会	人事委員会（第九回）	人事委員会（第九回）	2・6・15

2 ・ 8 ・ 17	2 ・ 8 ・ 10	2 ・ 7 ・ 24	2 ・ 7 ・ 19	2 ・ 7 ・ 17	2 ・ 6 ・ 26	2 ・ 6 ・ 21	
人事委員会（第二〇回）	会報編集委員会（第七回）	法職教育検討委員会（第二回）	会報編集委員会（第六回）	執行部会	法職教育検討委員会（第一回）	会報編集委員会（第六回）	
於 第一東京弁護士会会館	於 東京弁護士会会館	於 第二東京弁護士会会館	於 駿河台記念館	於 中央大学駿河台記念館	於 中央大学駿河台記念館	於 東京弁護士会会館	
議題 座談会の進め方について	議題 幹事長よりの諸問事項について	議題 (4)(3)(2)(1) 会員名簿変更分の掲載準備	議題 編集方針と具体的準備について 座談会のレジメ作成 会員の意見・消息欄の構想と準備 随筆等の執筆依頼の構想と準備	議題 四〇周年記念行事準備委員会の構成及び開催時期について	議題 中央大学法職指導委員との合同懇談会 議題 法職講座運営上の問題点とその対策について	議題 会報編集基本方針について	

2・8・30	会報編集委員会（第八回）	執行部会	於 駿河台記念館 議題 座談会の進め方について	議題 学校法人中央大学総長選考委員会委員欠員補充・後任候補者推薦の件（小池金市氏の後任として赤坂正男氏、石井一郎氏の後任として大西 保氏を推薦）		
2・9・7	平成二年度第一回幹事会・常任幹事会	於 第一東京弁護士会会館 議題 第一回幹事会・常任幹事会進行打合せ	於 三越食堂 議題 1 本年度事業計画について 2 四〇周年記念行事準備委員会委員選出 3 各種委員会活動状況報告	於 東京弁護士会会館 議題 会報編集の準備について	於 中央大学多摩校舎 議題 中央大学法学部カリキュラム検討委員との懇談 議題 中央大学法学部カリキュラム改訂について	2・9・14
2・9・20	会報編集委員会（第九回）	於 東京弁護士会会館 議題 会報編集の準備について	於 東京弁護士会会館 議題 座談会・内容・レジメ・資料の準備	於 東京弁護士会会館 議題 座談会・内容・レジメ・資料の準備	2・9・26	2・9・9
2・10・15	会報編集委員会・座談会小委員会（第一回）	於 東京弁護士会会館 議題 座談会・内容・レジメ・資料の準備	於 東京弁護士会会館 議題 座談会・内容・レジメ・資料の準備	於 東京弁護士会会館 議題 座談会・内容・レジメ・資料の準備	2・10・9	2・10・18
(1) 会報編集委員会（第一〇回）	於 東京弁護士会会館 議題 会報編集の準備について 議題 座談会レジメ及び実施要領の作成					

2 · 10 · 23	法職教育検討委員会（第四回）	於 東京弁護士会会館 (会報編集委員会との合同委員会)	(4)(3)(2) 会員の意見・消息欄の準備 随筆等の欄の準備 会員名簿変更分の掲載準備			
2 · 10 · 23	会報編集委員会・座談会小委員会（第三回）	於 東京弁護士会会館 (法職教育検討委員会との合同委員会)	議題 幹事長よりの諮問事項について			
2 · 10 · 25	人事委員会（第一回）	於 第一東京弁護士会会館 議題 学校法人中央大学評議員会議長（故宮田光秀氏）後任の件 (継続)	議題 座談会内容打合せ等			
2 · 10 · 30	会報編集委員会・座談会小委員会（第四回）	於 駿河台記念館 議題 座談会レジメ・資料の準備等				
2 · 11 · 6	人事委員会	学校法人中央大学評議員会議長選考委員会委員候補者推薦につき 執行部に一任（赤坂正男氏を推薦）				
2 · 11 · 17	座談会	出席者 外間寛法学部長、高窪利一、三和一博、永井和之各教授、法職講座運営委員会委員、法職教育検討委員会中津靖夫委員長、会報編集委員会猪股喜蔵委員長同委員、幹事、執行部				
2 · 11 · 27	法職教育検討委員会（第五回）	於 東京弁護士会館 議題 幹事長よりの諮問事項について				

							2 · 11 · 30	人事委員会（第一二回）
3 · 1 · 24	3 · 1 · 22	3 · 1 · 17	2 · 12 · 22	2 · 12 · 20	2 · 12 · 13	平成二年度第二回幹事会・常任幹事会	於 第一東京弁護士会館 議題 財団法人白門奨学会評議員六名推薦の件（石井嘉夫、高橋守雄、杉山英巳、中津川彰、藤井光春、信部高雄の各氏を推薦）	人事委員会（第一三回）
会則改正委員会（第二回）	法職教育検討委員会（第七回）	会報編集委員会（第一二回）	法職教育検討委員会（第六回）	会報編集委員会（第一回）	人事委員会（第一三回）	於 三越食堂 議題 1 支部旗伝達 幹事増員の件 各種委員会活動状況報告	於 第一東京弁護士会館 議題 2 (継続) 學校法人中央大学評議員會議長（故宮田光秀氏）後任の件	於 東京弁護士会館 議題 座談会原稿の整理 表紙の検討その他
於 第二東京弁護士会館 議題 中央大学法学部法律学科のカリキュラム改革について	於 第一東京弁護士会館 議題 各原稿の整理 入稿、校了等のスケジュール確定	於 第一東京弁護士会館 (法職講座運営委員会合同同委員会) 議題 答案ゼミの運営について	於 中央大学多摩校舎 (法職講座運営委員会合同同委員会) 議題 入稿、校了等のスケジュール確定	- 228 -				

3 ・ 3 ・ 15	3 ・ 3 ・ 7	3 ・ 3 ・ 6	3 ・ 3 ・ 5	3 ・ 2 ・ 26	3 ・ 2 ・ 21	3 ・ 2 ・ 7	
平成二年度第二回幹事会・常任幹事会	執行部会	人事委員会（第一五回）	会則改正委員会（第二回）	法職教育検討委員会（第八回）	会報編集委員会（第一三回）	人事委員会（第一四回）	議題 幹事増員に関する幹事長諮問事項について
於 法曹会館 議題 1 会則等一部改正案審議	於 第一東京弁護士会館 議題 1 第三回幹事会・常任幹事会について 2 第四回幹事会・常任幹事会について 3 平成二年度度定時総会について 4 次年度幹事・会計監査の人選について 5 顧問等の人事について	於 第一東京弁護士会館 議題 1 学校法人中央大学評議員候補者推薦の件 2 学校法人法職講座運営委員会委員（改選の件）（柳沢義信氏の後任として、荻原静夫氏を推薦）	於 東京弁護士会館 議題 1 任期満了に伴う後任委員の推薦について 2 中央大学法学部改革作業委員会の作業について	於 東京弁護士会館 議題 各原稿の整理	於 東京弁護士会館 議題 1 任期満了に伴う後任委員の推薦について 2 中央大学法学部改革作業委員会の作業について	於 第一東京弁護士会館 議題 1 任期満了に伴う後任委員の推薦について 2 中央大学法学部改革作業委員会の作業について	於 第一東京弁護士会館 議題 1 任期満了に伴う後任委員の推薦について 2 中央大学法学部改革作業委員会の作業について

3 · 3 · 19	会報編集委員会（第一三回）	於 東京弁護士会館 議題 入稿状況の点検その他	4 3 2 定時総会日程承認の件 各種委員会活動状況報告	学校法人中央大学評議員候補者推薦
3 · 3 · 28	法職教育検討委員会（第九回）	於 東京弁護士会館 議題 幹事長の諮問事項について		
3 · 4 · 18	会報編集委員会（第一四回）	於 東京弁護士会館 議題 入稿状況の点検、ゲラ刷校正について		
3 · 5 · 23	会報編集委員会（第一五回）	於 東京弁護士会館 議題 入稿状況の点検、ゲラ刷校正について		
3 · 5 · 9	法職教育検討委員会（第一〇回）	於 東京弁護士会館 議題 幹事長の諮問事項について		
	執行部会	於 東京弁護士会館 議題 幹事長の諮問事項について		
		於 第一東京弁護士会館 議題 第四回幹事会・常任幹事会の進行		
		定時総会・懇親会の進行について		
議題 1 1 於 中央大学駿河台記念館 平成二年会則等一部改正の件				
議題 2 2 於 平成二年会務報告の件				
議題 3 3 於 各種委員会活動状況報告の件				
議題 4 4 於 平成元年度会計報告・監査報告承認				
顧問委嘱の件				